

## 宗内寺院紹介 74

群馬教区北群馬部

## 船尾山等覚院 柳澤寺



- ①観音堂(本堂)正面 ②観音堂の本尊『千手千眼観世音菩薩』像  
③客殿を正面から ④永代供養の塔の五重塔  
⑤鐘撞き堂と奥の観音堂(本堂) ⑥元禄年間と伝えの仁王門

当寺は、船尾山等覚院柳澤寺といい、延暦寺の直末の寺として、中世には学僧も多く排出したと云われている。本尊は、千手千眼観世音菩薩をお祀りしている。戦国時代末に北条、上杉、武田の争覇の戦場となり、全ての堂宇を焼失したが、江戸時代に入ると天海大僧正、高崎城主安藤右京進などの尽力により朱印地三十石を賜り、再建に着手。貞享元禄にいたり諸堂の修復をみた。約九千坪の境内には元禄年間の様式を残した本堂や仁王門、間口十三間延宝年間建築の客殿、平成に建立された五重塔があり、木立の中にも諸堂、庚申塔や石仏が散在し、伝教大師の教えを脈々と今に伝えている。

群馬教区北群馬部

## 船尾山等覚院 柳澤寺

住 所／〒370-3502 群馬県北群馬郡榛東村山子田2535

電話番号／0279-54-3954